

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 高山市立北小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒506-0004

岐阜県高山市桐生町2-21

E-mail kita@edu.city.takayama.gifu.jp

Website

<http://www.city.takayama.lg.jp/kurashi/1000020/1000114/1000761/1000765.html>

幼児児童生徒数 男子340名 女子350名 合計690名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校では、郷土教育を総合的な学習の中に位置付け、①郷土の環境を知り郷土を大切に教育、②伝統文化を継承する教育、③地域とのつながりを深める教育、に分類し実施している。

具体的には、①では郷土の環境を調べる学習（4年生）や、郷土の魅力を写真で表現する「私の好きな高山写真コンテスト」（5、6年生）を、②では、高山の伝統的な文化を実体験する「花もちづくり」（3年生）や、北小学校区で活躍する人々から伝統文化を知る学習（5年生）や、高山市の歴史や文化を見つめ直し、観光の観点でパンフレットを配る学習（6年生）を、③では、保育園や幼稚園の年長児童との交流会（1年生）や、北小学校区の事業所を見学し、ミニ職業体験をする学習（2年生）を行っている。

また、おのこの学習の出口には、発表会形式の活動を取り入れ、「つなげて話せる子」の育成にも努めている。これらの学習を行うことが、郷土を愛し、郷土に誇りを持ち、進んで地域に貢献しようとする児童の育成につながると考え、少子高齢化や過疎化が進む高山市にとって、子どもたちが、豊かな自然と受け継がれてきた文化や伝統を大切に、郷土の未来を作っていくことと捉えている。

これらの活動は、まさに持続可能な開発のための教育（ESD）であり、今後も学校体制で改善・改革しながら、プロジェクトを進めていきたいと考えている。

① 郷土の環境を知り郷土を大切にす教育

郷土の自然や環境について学び、それを守ることの意義を理解し、自然や環境を積極的に保全しようとする態度を育てる。

- ・ 4年生「美しく住みよい郷土」
- ・ 5・6年生「私の好きな高山写真コンテスト」

② 伝統文化を継承する教育

郷土の歴史や伝統・文化について学び、地域の文化が長い人々の暮らしの中で築かれてきたことを理解し、地域に根付く伝統文化を継承したり、地域の産業や観光に生かしていこうとしたりする態度を育てる。

- ・ 3年生「長寿会の方と共に花もちづくり」
- ・ 5年生「地域の人から学ぶ（伝統文化）」
- ・ 6年生「発見！高山の魅力！」

③ 地域とのつながりを深める教育

地域で働く人々から学んだり、地域の人々とのふれあいを深めたりして、地域の人々の郷土に対する思いや生き方を学び、地域に貢献する意識を育てる。

- ・ 1年生「なかよし交流会（年長さんとの交流）」
- ・ 2年生「お店見学をしよう」



① 伝統文化を学ぶ写真
（金箔貼り）



② 花もちづくりの写真
（長寿会の方と）



③ 発見！高山の魅力！の写真
（観光客にパンフレットを配布）



④ 年長さんとの交流会の写真
（自分の名前を書こう）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(郷土教育)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

<p><u>郷土の環境を知り、郷土を大切にする教育</u></p> <p>○4年生「美しく住みよい郷土」</p> <p>1、教材・教具</p> <ul style="list-style-type: none">・ビデオ「ふるさとの環境、岐阜県」、プロジェクター <p>2、書籍</p> <ul style="list-style-type: none">・高山市小学校社会科資料集「飛騨の高山」3・4年用・「新しい社会」(社会科教科書) 東京書籍 <p>3、ウェブサイト</p> <ul style="list-style-type: none">・高山市環境政策推進課 http://www.city.takayama.lg.jp/kankyouseisaku/・高山市生活環境化 http://www.city.takayama.lg.jp/seikatsukankyou/

○5・6年生「私の好きな高山写真コンテスト」

1、教材・教具

・レンズ付きフィルム、フレーム、展示用パネル、プロジェクター

2、書籍

・「Mind's Eye—心の眼」「まだ見ぬ中国へ」 稲越功一著

伝統文化を継承する教育

○3年生「長寿会の方と共に花もちづくり」

1、教材・教具

・白樺の株、枝、餅、枝切バサミ、

2、書籍

※長寿会の方から、「花もちづくり」の伝統文化を伝承している。

○5年生「北小学校区の魅力再発見」

1、教材・教具

・高山市小学校社会科資料集「飛驒の高山」5・6年用

※北小学校区内で伝統文化を伝承している人からお話を聞いている。

2、書籍

・「新しい社会」（社会科教科書）東京書籍

・高山市小学校社会科資料集「飛驒の高山」5・6年用

○6年生「高山の魅力再発見」

1、教材・教具

・デジタルカメラ、クリップボード等

2、書籍

・「新しい社会」（社会科教科書）東京書籍

・高山市小学校社会科資料集「飛驒の高山」5・6年用

・旅行雑誌、

※高山市内で伝統文化を伝承している人や歴史に詳しい人からお話を聞いている。

3、ウェブサイト

・高山市観光課 <http://www.city.takayama.lg.jp/kankou/>

地域とのつながりを深める教育

○1年生「なかよし交流会（年長さんとの交流）」

1、教材・教具

・画用紙、はさみ、マジック等

○2年生「お店見学をしよう」

1、教材・教具

・デジタルカメラ、クリップボード等

・北小学校周辺の地図、

※保護者からボランティアを募って、児童引率のお手伝いをしていただいている。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1, 2年生は生活科、3～6年生は総合的な学習の時間に、ユネスコスクールとしての郷土教育を位置付けている。また、教科や特別活動、道徳の時間との関連を図って全体計画を作成し、年度末には各学年において評価と改善を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

総合的な学習の時間の中に、活動を計画的に位置付けている。各学年の活動内容について、毎年度評価・検討し、引き継いで取り組んでいる。また、長寿会の方々や校区で活躍するの方々、保育園や幼稚園の児童たちとの交流は一度きりのものではなく、継続してお願いをしている。年度末には、学年を超えて学習発表会を行っているため、児童は来年度の学習に興味をもって向かうことができる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

児童による自己評価と相互評価、教師の観察による評価を行っている。児童の自己評価を毎回、あるいは単元末に行う。学習したことを新聞やパンフレット等にまとめて発表会を行い、相互評価を行う。教師による評価は、毎回の活動やワークシート、学習をまとめる活動や発表の様子を観察して行う。

年度末には、一年間の活動を各学年で活動時期や実施内容を検討し、改善案を出して引き継いでいる。例えば、地域の伝統工芸について学習する5年生では、オリエンテーションや、個人課題の設定や見学先の決定を早い時期に変更したりした。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

6年生「発見！高山の魅力！」の学習では、地域のよさを調べてパンフレットにまとめ、町に出向いて歴史や食文化など地域のよさを観光客に伝えた。5・6年生「私の好きな高山写真コンテスト」の学習では、校内で展示をしたりコンテストで賞をもらったりするだけでなく、作品を市役所に展示させてもらい、市民にも活動の成果を見てもらうことができた。これらの学習を行ったことで、これまで気付かなかった郷土のよさに気付くことができ、郷土を愛し、郷土に誇りを持ち、進んで地域に貢献しようとする児童の姿が多く見られた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

3年生「長寿会の方と共に花もちづくり」の学習では、地域の長寿会の方々と交流をし、花もちのつくり方や地域に伝わる花もちの歴史について教わっている。5年生「地域の人から学ぶ（伝統文化）」の学習では、伝統工芸を伝承している方々を訪ねて学んでいる。6年生「発見！高山の魅力！」の学習では、朝市や陣屋などの歴史ある場所や観光地を実際に見に行き、交流して話を聞いてきた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

他校と交流している学校通信や、電話を通して、どのような活動をしているのかを知ることができた。地域や学校によって、活動に独自性や特徴があり、それぞれのよさが生かされた活動になっていると感じた。引き続き他校の活動の様子から学びながら、本校の活動を検討し続けていきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

1年生から6年生までそれぞれのテーマを立てて、全校で郷土についての学習を進めることで、児童は段階的に郷土教育を積み重ねることができている。また、学年の枠を超えて発表する活動を通して、児童たちは来年度の学習に希望を抱いたり、意欲的に調べたりする様子が見られている。
教員からではなく、長寿会の方々など地域の大人から学ぶことで、郷土に伝わる生の声を聞くことができ、興味をもって学ぶことができた。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

1年生「なかよし交流会」（年長さんとの交流）
・次年度入学する年長児との交流を通して、異年齢児童との交流や地域との関わりを深める。
2年生「お店見学をしよう」
・校区の事業所を見学する活動を通して、地域で働く人との交流を深めるとともに、働くことへの理解を深める。
3年生テーマ「なだの里たんけん隊」（「花もちづくり」の活動）
・校区内の現在の様子や古くから残る生活の様子を調べることを通して、自分達の故郷のよさを考える。
4年生テーマ「美しく住みよい郷土」（「カワゲラウォッチング」の活動）
・高山市の環境（川・ゴミ）について調べることを通して、故郷の環境を守るために、自分に何ができるか考える。
5年生テーマ「地域の人から学ぶ」（「高山の伝統工芸」から学ぶ）
・高山市の自然や伝統を守る人、高山市の発展に努める人について調べ、それらの人々の生き方を学ぶことを通して、自分の生き方を考える。
6年生テーマ「高山の魅力発見」（「高山のよさを調査し観光客に知らせる」活動）
・観光の町高山について、京都と比較し互いのよさを調べることを通して、高山や日本のよさを感じ取り広める。